

八丈島 水産だより

9月号

2013



ハマアザミ

八重根から八丈小島の方を望む



朝晩がだんだんと涼しくなり秋の訪れを感じます。夏休みが終り、海水浴場の観光客は少なくなりましたが、島の子どもたちは、まだ元気に泳いでいます。

月初め、八丈島からは遠く離れた沖縄近くの台風の影響で、島の西側はうねりが入り、波が高くなりました。また、強い南西の風とともに台風からの湿度の高い空気が入り、八丈富士や三原山、八丈小島などの山にぶつかり、たくさんの雲ができていました。いつもは山の頂上部だけにかかる雲が、水蒸気の量が多いためか、帯のように長く伸びていました。

■キンメダイ 漁獲量過去最高！

八丈島で最も漁獲量の多い魚種がキンメダイとなつてから数年となります。今年はキンメダイの漁獲量が統計を取りはじめてから最も多くなることが確定しました。8月末ですでに約367tを漁獲、これまで年間漁獲量のもっともおかたつた平成21年の約360tを超えました。春のカツオ曳縄漁が不漁で、多くの漁師さんがキンメダイなどの底魚一本釣り漁へ切り替えるのが早かつたことも、理由のひとつと考えられます。



水揚げされたキンメダイ



■ムロアジ漁 順調です！



漁船から水揚げ



選別機にかける

先月からはじまつたムロアジ漁は、現在3隻の漁船で行われています。それぞれの漁船は1日に獲る量が決められており、その量を獲ると港に帰ってきます。水揚げされたムロアジはすぐに大きさに別に分けるため、選別機にかけられます。

鮮度の良いムロアジを目当てに、港には「くさや」の加工業者が集まります。希望する大きさのムロアジを買つると、少しでも鮮度の良いうちに「くさや」にするため、すぐに加工場に戻って行きます。